

分かち合い、共に未来を創造する子どもたちをめざして…

縦割り創造活動号 No. 2



小豆島合宿 2019 新たなひと・もの・こととの出会い

創造活動が深まる秋

先日、創造活動合宿を行いました。異学年の仲間と寝食を共にする中で互いのよさを再発見したり、集団の中での自分の在り方を探ったりしながら、各組の年間計画に基づいたプロジェクトなどに集中的に取り組みました。その中で望ましい人間関係を築くとともに、学び続ける力、関わる力、創造する力を養うことをねらった合宿です。じっくりと小豆島の自然を満喫した学級。小豆島ならではの人と出会い、ものに関わった学級。どの組も、友達との絆を深め3つの力を養うことができた2日間だったのではないのでしょうか。



緑1組

小豆島の魅力が伝わるストップモーションムービーを作成しました。オリーブ公園では、スタッフの方に作成中の映像を見てもらい、館内で使って欲しいと直接交渉しました。「内容次第でHPに掲載できるかも」というお話があり、今後の活動が更に発展していきそうです。



緑2組

とにかくたくさんのものでつくり方に挑戦しよう！よんでんブラザで万華鏡やソーラーメロディハウスに作ったり、セミナーハウスでスノードームを作ったり、小豆島の砂浜でマリエもんプレートを作ったりしました。いろいろなアイデアを手に入れた34人。今後のものづくりがどうなるか楽しみです！



緑3組

小豆島の人にもオリンピック・パラリンピックのことを知ってもらおうと、イベントを開きました。ポッチャ、ゴルフボール、ゴルフの体験と、オリンピック・パラリンピックのクイズにチャレンジしてもらいました。小豆島の人との交流を通して、失敗も成功も次につながる貴重な経験になったようです。



緑4組

1学期は、見よう見まねで行ってきたものづくり。完成形のイメージはあっても、のこぎりで切ったり金槌で釘を打ったりすることの難しさを感じていました。そこで、今回、大工さんから直接コツを教わりました。今後のものづくりに生かせる貴重な学びになりました！



緑5組

パーティーのアイデアを見つけに福武ハウス、キャンドルの材料を集めに寒霞渓やエンジェルロード、オリーブ公園へ行きました。「人が喜ぶ会場とパフォーマンスにしたい」「思い出が詰まったキャンドルができそう」という新たな思いと見通しをもつことができました。



緑6組

高松園舎の園児たちに、ハルーンアートや皿回し、手品、中国ゴマ、ジャグリングを披露しました。自分たちが思っていたような反応が返ってこなかったため、小豆島でも、さらに練習を重ねました。どうすれば、より楽しんでもらえるかを考える機会となりました。



白1組

小豆島の海や山からたくさんの素材を見つけて、11月12日(火)から高松市美術館で展示される「おおきなものだいさくせん」に向けた作品づくりを行いました。また、自分たちの作品がふるさと荘のロビーにも飾られることになり、新しい目標もできました。



白2組

白2組がちゃがちゃプロジェクト第2弾は小豆島の魅力発見がちゃに挑戦。小豆島ならではの魅力とは？白2組ならではの発想で勝負します。小豆島を元気にしよう活躍している地元の人々のアドバイスも受けて、さらにパワーアップした第2弾がちゃ、近日、公開します。乞うご期待！！



白3組

ダンボール遊園地を開園することを目標にしています。小豆島では、港の周りいろいろな人にインタビューをして、小豆島のよさを教えてもらいました。子どもたちは、積極的にたくさんの人と関わり、人の優しさに触れました。答えてもらったことを絵にして、巨大パズルを作成します。



白4組

「砂浜宝さがしラリー」「スポーツかるた」「頭コップのせりラリー」「ハナナおに」という、オリジナルのゆるスポーツに挑戦しました。学年や得意不得意関係なく、誰でも楽しめるゆるスポーツとは…？オリジナル競技をして感じたことを出し合うと、ゆるスポーツの大切なポイントが見つかりそうです。



白5組

白5組が目指している「せみの森カフェ」の参考にするために、エンジェルロード近くのカフェを訪ねました。お店でこだわっていることや工夫していることをインタビューし、自分たちのカフェに生かそうなことをたくさん見付けることができました。これからの活動につなげていけそうです。



白6組

記念品制作の足がかりとして、オリーブビーチとエンジェルロードで集めた貝殻やシーグラスを使い、図書室の看板を作りました。みんなで色紙をちぎったり、貝殻を並べて貼ったり、協力して作りました。十色の色紙は個性豊かな附属小のみんなを表現しています。掲示するのでぜひ見てください！



赤1組

これまでテレビ撮影について工夫してきたこと、改善してきたことを生かして、グループで様々なところを紹介する動画を撮りました。小豆島の果てまでイッテQということで、島の魅力を伝える番組を目指しました。人との出会いを大切に、伝え方を考えて、現地で撮影しました。近日公開予定！



赤2組

これまでに練習してきた撮影方法を使って、小豆島をPRする動画制作に挑戦しました。動画としての面白さと小豆島の魅力を上手く融合させた作品ができるかどうかポイントです。作品は小豆島の観光地や、高松港周辺のお店に置いていただけるか交渉中です！全ては作品の完成度次第！



赤3組

小豆島で出会った様々な人にドッキリをしかけ、喜んでもらうことができました。オリーブ公園ではハートのオリーブの葉を使ったサプライズ、エンジェルロードでは本物の天使が登場するドッキリ、他にもお世話になった方々に突然感謝状ドッキリなど、力を合わせて成功させることができました。



赤4組

お笑い「赤4ライブ」を友達に見てもらいました。人前が出る恥ずかしさやこれまで考えてきた笑いが通用するかといった不安を乗り越え、何とか全組かやり遂げました。自信につながったことや反省もありました。練習の成果をうめフェスタ当日8:30からのライブで披露します。乞うご期待！！



赤5組

「学校に貢献！懸賞・応募生活」プロジェクトでは、「あったらうれしいアプリ」「あったらうれしいかき氷のシロップ」など、一人一人のアイデアが光りました。自由な想像を楽しむ経験が、面白いものつくり、困っている誰かを助けたり、人生を豊かにする未来につながっていくと思っています。



赤6組

子ども会社「赤6組アイデアカンパニー」のビジネスパートナーである小豆島観光協会の石床さんと角田さんに、観光PRポスターのキャッチコピーをプレゼンしました。簡単には採用に至らない厳しさを経験しながらも、社会に参画する喜びも知ることができました。採用アイデアはHPに掲載予定！